

平成23年度

自主汗学

じしゆかんがく



平成 23 年 7 月 1 1 日

半田市立青山中学校

第 8 号

学 校 だ よ り

懇談会に向けて

人間はすべて同じではありません。皆それぞれに、自分なりの能力・適性をもっています。教育においては、そうした能力・適性を大切に、良いところを伸ばすように努力することが大切だと言われます。したがって、「得意なことをふくらますことによって不得意なことに挑戦していく力が身につけられる」と励ますことや、「深く考えることなく他の人と同じことをやろう」と思って、単純にまねをしたり背伸びをしたりしても、努力の割に報われないことがある」と気づかせることが、大切だと考えています。

また、中学校はいやおうなしに進路という人生の節目にあたる試練が待っています。その試練を苦痛と思わずに、自分を試すチャンスだと思えばよいのですが…。ややもすると、なまけ心が顔を出してすぐに逃げ出したくなってしまい、責任を転嫁して自分の心を満足・合理化させてしまいがちです。そうした弱さも人間はもちあわせています。

しかし、ずいぶん前にも紹介しましたが、自分で脚本を書き、自分が主演して、自分が監督する、それが生きるということです。だから、どんなに重くても、どんな辛くても、自分の足で立って、自分らしく、自分の足で歩いていくしかないのです。

そのためにも、自分のあるべき姿や方向をしっかりと見つめるとともに、勇気と希望をもち、将来自立していける「力」（学力・人間力・体力など）を身につけていくことが大切だと思います。

明日からの個人懇談会では、今・現在のことばかりでなく、将来の生き方を含め、お子さんの健全な育成につながることを担任と懇談していただきたいと思います。限られた時間ではありますが、「打ち解けて親しく話」をしていただければ幸いです。よろしくお願いします。



今年の夏もよい汗をかこう!!

夏休み、部活動以外にも、よい汗をかくことができます。

その一つに、ボランティア活動があります。以下にあるように、いろいろな団体や施設が中学生の力を必要としています。視野を広げ、奉仕の心を学ぶ上で、ボランティア活動はとても有効です。興味のある人は、申し込み締め切り期限を守り、申し込みましょう。

<青山中学校に要望されたボランティア活動一覧>

- | | | |
|-------------------------|---|--------------|
| ・子ども科学体験教室（8/20） | 於 | 雁宿ホール |
| ・青山児童センター（7/26・8/2） | 於 | 青山児童センター |
| ・デイサービスセンター夏祭り（8/15～19） | 於 | デイサービスセンター元気 |
| ・成岩第三区盆踊り（8/13～8/15） | 於 | 神戸公民館 |
| ・サマーアタック（半田市社会福祉協議会関係） | 於 | 市内各地 |

職場体験学習にむけて

2年生は、例年のように、職場体験学習に取り組みます。

期間は、8/2～8/4の4日間のうちの3日間が基本となっています。（相手先の都合で違う日程で実施する場合があります。）また、体験する業種は以下のとおりです。

この行事では、毎年2年生が貴重な体験をさせていただくとともに、いろいろ勉強してきています。今年も、働くことの意義や意味、働くことの大変さなどを、身をもって勉強してきてほしいと思っています。暑い中で大変ですが、がんばりましょう。

<職場体験の業種一覧>

飲食店、お菓子屋、本屋、コンビニ、接骨院、病院、薬局、保育園、写真館
ペットショップ、工務店、動物愛護センター、園芸店、自動車整備工場、放送局
消防署、楽器屋、旅行取り扱い店、図書館、デイサービスセンター など

ホームページをご覧ください!

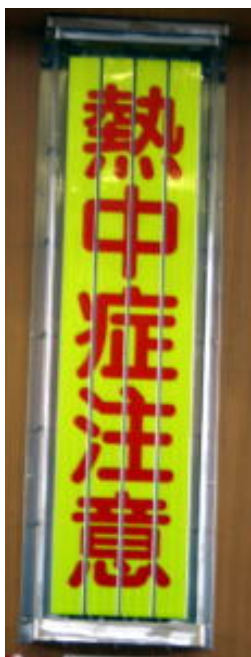
なお、部活動の様子、ボランティア、職場体験学習については、今年度も、ホームページで特集を組みます。ぜひ、そちらをご覧ください。

ちなみに、右図は、昨年度のホームページ、夏休み特集のページです。



熱中症に注意を!!!

保健だよりでも注意勧告がありました。熱中症に注意する季節となりました。以下の点に配慮して、熱中症を予防しましょう!



- 熱中症の症状…症状は多彩です。まず、発汗、めまい、筋肉の硬直(こむら返り、筋肉痛などが起こり(軽症)、つぎに、頭痛、嘔吐、倦怠感、虚脱感、集中力や判断力の低下が発生し(中等症)、重症になれば意識障害、痙攣発作などをきたし、死亡する例もあります。
- 熱中症にかかったら…症状が少しでも出現したなら、我慢せず、すぐに涼しいところ、日陰などに避難し、安静状態を保ちつつ体を冷やし、十分なスポーツドリンクや麦茶などの水分を摂取することです。症状が改善しない場合や悪化する場合はただちに病院へ搬送しなければなりません。
- 熱中症の予防…予防は運動前の健康状態のチェック、練習前後の体重確認やケガ・故障の把握が大切です。発熱、疲労などは熱中症を誘発します。スポーツを行なう際には、まず天候や気温、湿度などに注意し、それに応じた運動と水分補給を行い、熱さに徐々に馴らしていくことが大切です。また、具合が悪くなれば、ただちに運動を中止することが大切です。

←体育館壁面の看板

(引用・参考 半田病院だより)